

2010(平成22)年度

広島女学院大学「教員免許状更新講習」募集案内

I. 概要

2008(平成19)年6月「教育職員免許法」の改正で導入されました教員免許更新制により、幼稚園教諭、中学・高等学校の国語科、英語科、家庭科教諭を対象とした2日間12時間の必修領域コース（共通）と3日間18時間の選択領域コース、計30時間の更新講習を実施いたします。受講生の性別は問いませんので、広く公募させて頂き、皆様の申込をお待ちしております。

※各コースどちらか一方のみの受講も可能です。

II. 実施会場

広島女学院大学 広島市東区牛田東 4-13-1 電話(代表) 082-228-0386

<http://www.hju.ac.jp/info/map/index.html>

III. 受講対象者と募集定員

受講対象者：2012(平成24)年3月31日が修了確認期限の方で、以下の方が対象となります。

生年月日が

1. 1956(昭和31)年4月2日～1957(昭和32)年4月1日
2. 1966(昭和41)年4月2日～1967(昭和42)年4月1日
3. 1976(昭和51)年4月2日～1977(昭和52)年4月1日の方が対象です。

- ① 現職教員（指導改善研修中の方は対象となりません）
- ② 教育委員会の教育長、指導主事、社会教育主事などの方
- ③ 教員採用内定者
- ④ 過去に教員として勤務した経験のある方（臨時採用、非常勤講師を含みます。）
- ⑤ 教育委員会や学校法人などが作成した臨時任用(または非常勤)教員リストに登載されている方
- ⑥ 認定子ども園、又は幼稚園も設置している法人等が設置している保育所等に勤務されている保育士の方で、幼稚園教諭免許状を保有されている方

※教員免許状を有している方で、当面教諭等になる意思のない方、見込まれない方は、本講習を受講することはできません。

[1] 必修領域コース（共通）

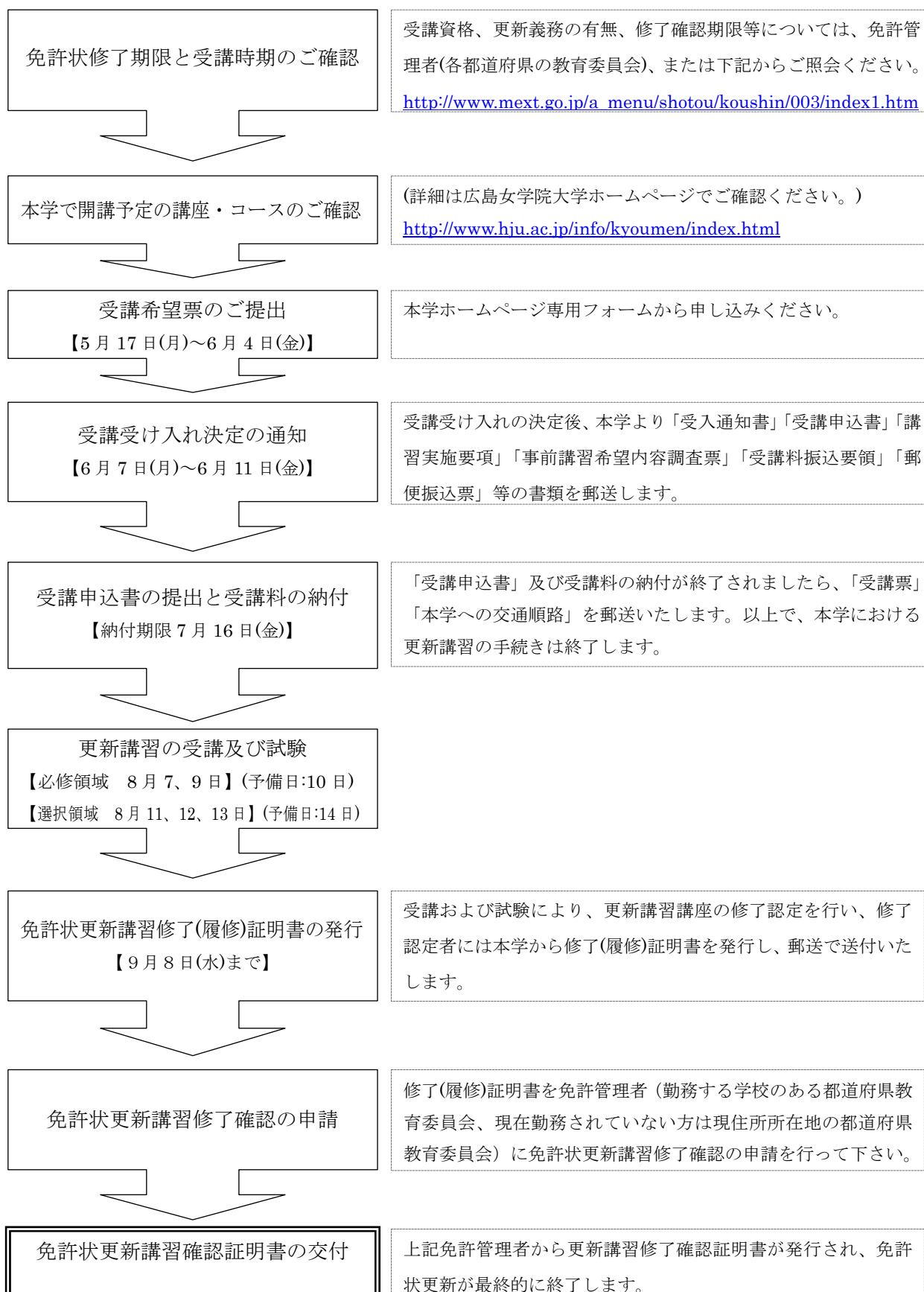
受講対象者	募集定員	備考
幼稚園教諭、中学・高等学校教諭	70名	30名に満たない場合、開講しません。

[2] 選択領域コース

受講対象者	募集定員	備考
幼稚園教諭	10名	5名に満たない場合、開講しません。
中学校・高等学校 国語科教諭	20名	7名に満たない場合、開講しません。
中学校・高等学校 英語科教諭	20名	7名に満たない場合、開講しません。
中学校・高等学校 家庭科教諭	20名	7名に満たない場合、開講しません。

IV. 更新講習実施の概略的スケジュール

(詳細は文部科学省ホームページ http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/002/08091201.pdf をご覧ください)



V. 開設日程・講座

〔1〕 教育の最新事情 (必修領域コース) (12時間) 全受講者対象

「教職についての省察」(近年の学校をとり巻く状況変化、教員の子ども観、教育観等)。「子どもの変化についての理解」(子どもの生活環境の変化を踏まえた学級づくり、生徒指導のあり方、カウンセリングの実際等)。「教育政策の動向についての理解」(学習指導要領改訂の動向、教育に関する法令改正、審議会の内容等)。「学校の内外における連携協力についての理解」(保護者・地域社会との連携、危機管理等)への取り組みの実際について考察する。

講習日	講習時間		講習内容	講師	講座記号	
8月7日 (土)	I・II	9:00 ~ 10:30	学校を巡る近年の状況変化	松浦正博	A	1
	III・IV	10:40 ~ 12:10	教師として期待される子ども観・教育観について			
	V・VI	13:00 ~ 14:30	子どもの発達に関する心理学等における最近の動向について	桐木建始		2
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10	学習意欲を引き出す学習指導、教育における対人関係・コミュニケーションの重要性について			
8月9日 (月)	I・II	9:00 ~ 10:30	特別支援教育(LD、ADHD)に関する近年の知見	山下京子	A	3
	III・IV	10:40 ~ 12:10	子どもたちの学級内での居場所づくりの意識形成			
	V・VI	13:00 ~ 14:30	近年の子どもの変化についての理解、 学習指導要領の改訂動向等	戸田浩暢		4
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10	学校を取り巻く社会との連携・協力についての理解	信楽和宏		5

注記：1) 各担当者の講義内において、履修試験を行います。

2) 自然災害等による講義中止の場合8月10日(火)を予備日とします。

[2] 教育内容の充実 (選択領域コース) (18時間)

i) 幼稚園教員対象

講習日	講習時間		講習内容	講師	講座記号	
8月11日 (水)	I・II	9:00 ~ 10:30	【子どもの感性や心を豊かに育む 表現活動の指導のあり方】 子どもをひとつの主体として尊重する中で、個の感性や心を豊かに育てていくことが保育の基本的な目標であると考えられる。子どもの心の変化やその対応に視点をおき、教育要領の改訂を概観し、実際に図画工作科の表現活動の演習を行うなかで子どもの感性や心を豊かに育む表現活動のあり方を考えていく。	三桝正典 鈴木道子	B	1
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				
8月12日 (木)	I・II	9:00 ~ 10:30	【豊かな育ちを援助する音楽指導のあり方】 子どもをよりよく理解し、豊かな育ちを援助するためには、保育者の専門性の向上が不可欠となる。本講習では特に、音楽に関わる保育技術の基礎・基本について学ぶことを目的とする。単にピアノや歌唱の技術を習得するだけでなく、一人ひとりの子どもの感性を育み、人と人を結ぶ音楽指導のあり方について演習を通して考えていく。	菅沼邦子 鈴木道子	B	2
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				
8月13日 (金)	I・II	9:00 ~ 10:30	【子ども本来の姿をふまえて学ぶ 運動発達の実際】 目まぐるしく移り行く社会の変化の中で、子どもの豊かな実体験は物質的な豊かさとは反して貧しくなっていると言われる。本講習では、子どもの生活とその背景から運動発達とその意義や役割について考える。また、「なんのために」「何を」「どのように」、と科学的視点や経験知を交えながら子ども本来の姿を様々な視点からとらえ、運動あそびの実践や講義を通して理解を深める。	田中沙織 鈴木道子	B	3
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				

注記：1) 各担当者の講義内において、履修試験を行います。

2) 自然災害等による講義中止の場合8月14日(土)を予備日とします。

ii) 中学校・高等学校「国語科」教員対象

講習日	講習時間		講習内容	講師	講座記号	
8月11日 (水)	I・II	9:00 ~ 10:30	【近年の中世和歌を中心とした、 気になる研究紹介とその検討】 「紫式部、歌詠みの程よりも物書く筆は殊勝」 (『六百番歌合』冬上・十三番)と俊成が評して以来、紫式部は歌才はそれほどではないと考えられていましたが、近年俊成は紫式部の歌を評価していたという研究発表がありました。このように、私的ではありますが私にとって気になる研究・論文を紹介し、一緒に検討したいと思います。	佐藤茂樹	C	1
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				
8月12日 (木)	I・II	9:00 ~ 10:30	【日本古代文学】 日本古代文学は、奈良時代と平安時代の文学を対象とする。今年は平城遷都 1300 年記念であり、天平文化を背景に誕生した和歌を取り上げる。大伴旅人、山上憶良、大伴家持、そして遣唐使と遣新羅使に関わる歌を考察する。	森 斌	C	2
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				
8月13日 (金)	I・II	9:00 ~ 10:30	【日本語史的視点から教科書を見る (日本語の文法)】 教科書を見比べて見ると、記述の不統一な点が多い。例えば、完了の助動詞「り」の接続については、「四段動詞の已然形・サ変動詞の未然形」接続説、「四段動詞の未然形・サ変動詞の未然形」接続説、これら両説を併記するものしないもの、四段・サ変ともに命令形接続という説を挙げるものなど、様々である。「御」の読み方なども統一されていない。本講習では、このような状況を日本語史的視点から検討したい。	柚木靖史	C	3
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				

注記：1) 各担当者の講義内において、履修試験を行う。

2) 自然災害等による講義中止の場合、8月14日(土)を予備日とする。

iii) 中学校・高等学校「英語科」教員対象

講習日	講習時間		講習内容	講師	講座記号	
8月11日 (水)	I・II	9:00 ~ 10:30	【反省的授業実践とアクション・リサーチ】 現職英語教員には自己の教育実践を反省的に捉えながら自ら成長する力量が求められます。そこで、本講習においては、研究者としての教師像に着目するとともに、アクション・リサーチの方法論について解説します。講義は、①自己の教育実践に関する反省的取り組み、②アクション・リサーチの実施方法、③言語交渉能力の養成をめざした授業展開の三つの内容から成り立ちます。	波多野五三	D	1
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				
8月12日 (木)	I・II	9:00 ~ 10:30	【外国語教育政策および英語指導法における変遷と統合的指導法】 本講座は、国内外の外国語教育政策および英語指導法の変遷と問題点に触れ、4技能の統合的指導についてワークショップ形式で講義と実践を交えて実施します。内容は、① 外国語教育政策と英語指導法の変遷と問題点、②リーディング、ライティング指導法、③ディベートによる統合的指導法及び修了認定試験の3部(各2時間)からなります。	林 桂子	D	2
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				
8月13日 (金)	I・II	9:00 ~ 10:30	【スピーチ・クリニック】 本講習は、Phonics を用いて英語の発音を実践的に練習する場を提供することを目的とします。第1回は、アルファベット、混成音、二重母音、分節法、Phonics などを取り扱います。第2回は、最小対立や困難を伴う発音に的を絞ります。第3回は、文中における語の結束、区切り、リズム、イントネーションなどを取り上げます。最終回は、参加者が自己診断に基づいて各自が苦手とする発音の練習に取り組みます。	Ronald Klein	D	3
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				

注記：1) 各担当者の講義内において、履修試験を行う。

2) 自然災害等による講義中止の場合、8月14日(土)を予備日とする。

iv) 中学校・高等学校「家庭科」教員対象

講習日	講習時間		講習内容	講師	講座記号	
8月11日 (水)	I・II	9:00 ~ 10:30	【ライフステージ別栄養学】 栄養学の知識をもとに、ライフステージ別の栄養管理について理解することを目的とし、5大栄養素の機能と特徴、および科学的根拠に基づいた各栄養素の摂取基準について説明する。さらに、乳児期から高齢期までの各ライフステージにおける身体的・生理的特徴と、それぞれの段階で必要な栄養管理について詳述する。特に、思春期に多くみられる疾患と栄養管理について、食生活の現状をもとに関連を考察する。	水羽陽子	E	1
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				
8月12日 (木)	I・II	9:00 ~ 10:30	【スポーツ栄養 学校における食育】 食を取り巻く児童・生徒の実態を、体力面、精神面、環境に分類し説明を行う。その中で、課題を整理し、学校における食育の進め方について理解させる。また、栄養学の知識を基に、スポーツ特性・タイミングなど状況に合わせた栄養の摂り方の基本を講義する。あわせて、その栄養を摂取するための献立の構成も説明する。さらに、スポーツをしている学童・生徒の実態を紹介し、対象者に合わせた栄養・食事の指導について説明する。	下岡里英 渡部佳美	E	2
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				
8月13日 (金)	I・II	9:00 ~ 10:30	【食品の特性、分類および食と健康について】 食品の特性、特に生体調節機能について、健康との関連で理解を深めるため、食品のもつ特性を機能に基づき要約し、説明を行うとともに、食品の様々な分類法を概説する。その中で、主な栄養素の働きに基づいた分類について詳述する。さらに、食品に含まれる生体調節機能に関与する成分およびそのメカニズムについて説明する。また、身近な食品を取り上げ、その化学成分・生体調節機能成分の特徴を健康との関連で考える。	三浦芳助	E	3
	III・IV	10:40 ~ 12:10				
	V・VI	13:00 ~ 14:30				
	VII・VIII	14:40 ~ 16:10				

注記：1) 各担当者の講義内において、履修試験を行う。

2) 自然災害等による講義中止の場合、8月14日(土)を予備日とする。

VI. 受講料について

〔1〕 受講料 （郵便局から指定用紙でお振り込みください。）

必修領域コース(12,000 円)、選択領域コース(18,000 円) 合計 30,000 円

※各コースどちらか一方のみの受講も可能です。

振込期日：7月16日（金）

〔2〕 受講辞退による取扱い

- ① 8月6日(金)17:00 までに欠席等のご連絡をいただいた方は、受講料から振込手数料を差し引いて銀行振込により返還いたします。
- ② 必修領域コースを受講された方で、8月10日(火) 17:00 までに選択領域コースをご欠席される連絡をいただいた方は、18,000 円から振込手数料を差し引いて銀行振込により返還いたします。
- ③ 締切日を過ぎて辞退された場合には返還できません。

VII. 受講希望票の提出およびお問い合わせについて

【お申し込み】 広島女学院大学ホームページから、お申し込みください。

<http://www.hju.ac.jp/info/kyoumen/index.html>

【お問い合わせ】 広島女学院大学教務課 教員免許状更新講習係

電話(代表) 082-228-0386

e-mail kyomu@gaines.hju.ac.jp

プライバシーポリシー

広島女学院大学は、個人情報に関して運用される法令及びその他の規範、文部科学省指針（文部科学省告示第百六十一号）を遵守し、広島女学院大学の“コンプライアンス・プログラム”に定める事項を遵守します。